

草加市教育委員会会議録

平成24年第10回定例会

平成 2 4 年 第 1 0 回 草 加 市 教 育 委 員 会 定 例 会

平成 2 4 年 1 0 月 2 5 日（木）午後 1 時から

草加市役所本庁舎西棟教育委員会会議室（4 階）

○ 議 題

第 44 号議案	草加市子ども教育連携推進委員会委員の委嘱について
第 45 号議案	児童クラブの整備に係る学校教育施設の使用変更について
第 29 号報告	草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告について
第 30 号報告	平成 24 年度全国学力・学習状況調査の報告について
第 31 号報告	県費負担教職員の人事に係る専決処理の報告について
第 32 号報告	第 3 回草加市子ども教育連携推進委員会に係る報告について
第 33 号報告	小中学校におけるいじめ防止対応策の報告について

○出席者

委 員 長	井 出 健 治 郎
委員長職務代理者	西 田 敏 子
委 員	村 田 悦 一
委 員	小 澤 尚 久
委 員	加 藤 由 美
教 育 長	高 木 宏 幸

○説明員

教育総務部長	松 川 令 久
教育総務部 副 部 長	後 藤 裕 史
総務企画課長	青 木 裕
学 務 課 長	七 澤 和 男
教育支援室長	石 崎 明 子
子ども教育連携推進室長	上 田 真由美
指導課長補佐	中 村 俊 臣

○事務局

書 記 小 沢 進
山 田 貴 弘
岡 川 裕 介

○傍聴人 1人

午 後 1 時 開 会

◎開会の宣言

○井出健治郎委員長 ただ今から、平成24年教育委員会第10回定例会を開会いたします。
まずは会議に先立ちまして、皆様にご報告を申し上げます。平成24年10月1日をもちまして、
村田委員さんが教育委員に再任をいたしました。また、新たに加藤由美さんが、市長から教育
委員に任命をされました。どうぞよろしくお願いいたします。ここでお二人の委員さんからご
挨拶をお願いしたいと思います。まずは村田委員さんからお願いいたします。

○村田悦一委員 このたび再任となり、その責任の重さをしっかりと受け止め、心機一転、輝
く草加教育の一步前進に向けて頑張っていきたいと思います。引き続き、ご指導お願い申し上
げます。

○加藤由美委員 まだ右も左もわからない状態ですが、勉強させていただきながら、草加の子
ども達のために力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○井出健治郎委員長 ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎前回会議録の承認

○井出健治郎委員長 事務局から前回の会議録の朗読をお願いいたします。

———— 前回会議録の朗読 ————

○井出健治郎委員長 ただ今、事務局から前回の会議録の朗読がありましたが、これにつま
ましてご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○井出健治郎委員長 よろしいようですので承認することとし、会議録への署名を行いたい
と思います。

———— 委員長・委員署名 ————

○井出健治郎委員長 以上で前回会議録の承認を終了します。

◎教育長報告

○井出健治郎委員長 次に、教育長報告を行います。教育長さん、お願いします。

○高木宏幸教育長

（ 1 ） 新任校長研修会／市役所（9月24日）

- (2) 保育士・教員研修／アコス (9月25日)
- (3) 小中学校校長会議／草加市文化会館 (9月28日)
- (4) 市民荣誉賞授与式／市役所 (9月29日)
- (5) 八潮市・草加市交通安全大会／八潮メセナ (9月29日)
- (6) 第10回宿場まつりパレード／おせん公園南側 (9月30日)
- (7) 市民荣誉賞授与式／市役所 (9月30日)
- (8) 教育委員辞令交付式／市役所 (10月1日)
- (9) 昭和村行政視察／高砂小 (10月1日)
- (10) 中央公民館まつり前夜祭／中央公民館 (10月5日)
- (11) 新田西文化センターまつり／新田西文化センター (10月6日)
- (12) 第51回草加市華道展／アコス (10月7日)
- (13) 南部教育長会議／浦和合同庁舎 (10月12日)
- (14) 草加八潮地区地域安全大会／アコス (10月13日)

——— 上記内容について報告 ———

○井出健治郎委員長 教育長報告について、何かお聞きしたいことはありますか。

(「ありません」と呼ぶ声あり)

○井出健治郎委員長 ご質問等がないようでしたら、以上で教育長報告を終了いたします。

◎議案審議

○井出健治郎委員長 ただ今から審議に入らせていただきます。本日は、議案が2件、報告が5件となっております。

なお、委員さんの中で議題以外に教育全般に係る質疑、ご意見等がありましたら、委員会終了後に意見交換の時間を設けておりますので、よろしくお願いいたします。

◎第 44 号議案 草加市子ども教育連携推進委員会委員の委嘱について

○井出健治郎委員長 第44号議案につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは第44号議案につきまして、上田子ども教育連携推進室長よりご説明させていただきます。

○説明員 ——— 草加市子ども教育連携推進委員会委員の委嘱について説明 ———

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

（「ありません」と呼ぶ声あり）

○井出健治郎委員長 ご質問等がないようでしたら、第44号議案につきましては、可決としてよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○井出健治郎委員長 それでは、第44号議案については可決といたします。

◎第45号議案 児童クラブの整備に係る学校教育施設の使用変更について

○井出健治郎委員長 第45号議案につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは第45号議案につきまして、青木総務企画課長よりご説明させていただきます。

○説明員 ——— 児童クラブの整備に係る学校教育施設の使用変更について説明 ———

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 説明をいただいた中で45-4の中に、再検討の希望があったということで、課長さんのほうから、“～強い希望が”というかたちでお話がありましたが、もし内容に差支えがなければどのような強い要望であったのかお話いただければと思います。

○井出健治郎委員長 青木課長さん、お願いします。

○説明員 担当の子ども未来部の方からお聞きしたのですが、まず住民の方から出された要望ですが、既存施設の有効利用としまして現在の建物を2階建にできないか、というのがありました。これについては、構造上無理でした。また、自宅の南側の部分に建つかたちになり、死角に入るため防犯上心配であるという声もありました。このようなことを考えまして、先ほどご説明申し上げましたが、施設の一体化を図る上で南側ということも、再検討の必要があるということで、総合的に判断しまして、市長部局の方では変更したいということでございました。

○井出健治郎委員長 ほかにご質問等がないようでしたら、第45号議案につきましては、可決としてよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○井出健治郎委員長 それでは、第45号議案については可決いたします。

◎第29号報告 草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告について

○井出健治郎委員長 第29号報告につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは第29号報告につきまして、石崎教育支援室長よりご説明させていただきます。

○説明員 ——— 草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告について説明 ———

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。小澤委員さん、どうぞ。

○小澤尚久委員 この調査は5月21日付の諮問ということでしたが、この就学予定というのは何年度の子ども達になるのでしょうか。あと、もう1点お聞きしたいのですが、報29-6のところで、調査実施人数が50人で、依頼の中の11人が未実施とあるのですが、どのような理由で未実施となっているのか教えていただけますか。

○井出健治郎委員長 石崎室長さん、お願いします。

○説明員 最初のご質問については、来年度新1年生になる子ども達です。次のご質問についてですが、各学校から調査依頼ということで61名きておりますが、就学支援委員会で判断を出すことは保護者の了解を得なければ実施できません。この11名に関しましては、保護者の了解が得られなかったということでございます。

○小澤尚久委員 この11名に対して、何か支援やフォローのようなものはあるのでしょうか。学級でなんらかの困難を抱えていて学校の方で判断をして、依頼を出された子ども達なのですよ。ただ保護者のほうでは、そういったことは考えていない、必要がないと判断されているわけですよ。ここにギャップがあると思います。そして、そのしわ寄せは、子ども達にきてしまい、この子達が不自由な思いをすることになってしまうのだと思います。学級の中での取り組みが主体になってしまうかもしれませんが、何か手を差し伸べてあげられないのでしょうか。この11名がどうなっているのか心配になりました。

○説明員 通常学級にいるお子さん達、また今回は特別支援学級の中にお子さんの中でも保護者の了解を得られなかった場合があります。現段階で6年生のお子さんですので、学級支援員や担任が配慮しながら見ているところではございます。また、判断が出なかったということは、中学校に向けて特別支援学級なり適切な就学に向けての相談ができていない状態です。やはりそれは、親御さんの意識が今後高まることを切に願って、さらに小中の連携を丁寧に行

っていきたいと思います。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 まず、来年度小学校1年生になる子ども達の就学時健診の時期についてですが、開きがあると思うのですが、1番早い学校と遅い学校でいつになるのでしょうか。もうひとつ、学務課の範疇になるかとは思いますが、当然知っているものと思いますので、新1年生の数について、1番少ない学校と多い学校、平均でどの程度の人数いるのか教えていただけますか。

○井出健治郎委員長 石崎室長さん、お願いします。

○説明員 まず就学時健診の方ですが1番早い学校で、10月11日谷塚小学校、すでに終了しております。1番遅い学校が松原小学校で11月7日でございます。次に新1年生の人数ですが、1番少ない学校は花栗南小学校57名、1番多い学校が清門小学校190名で、平均を取りますと、約103名となっております。

○村田悦一委員 うまく連携がとれていればスムーズに就学となるわけですが、心身ともに健康で4月を迎えられるようにということで、各学校で就学時健診が行われており、本来は教育委員会の方でやるべきことを各学校にお願いしているわけですが、そのような形の中で何か課題を感じていたり、予想される課題があればお話しいただけますか。なければ、なしで構いません。

○説明員 事前に学校とも連携をとりまして、今のところ課題と考えているものはございません。

○村田悦一委員 もうひとつ、草加にできる特別支援学校の名称は何になったのでしょうか。

○説明員 7月に決定したのですが、“草加かがやき特別支援学校”に決定いたしました。

○村田悦一委員 大事なものは、草加での大きな課題となっている特別支援教育の中での教員の問題等を、この特別支援学校との連携を通して解決を図り、また教員の質向上についても今から進めていただき、4月から充実した草加の特別支援教育が推進されるよう取り組んでいただきたいと思います。

○井出健治郎委員長 ほかにご質問等がないようでしたら、第29号報告につきましては、承認とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○井出健治郎委員長 それでは、第29号報告については承認いたします。

◎第30号報告 平成24年度全国学力・学習状況調査の報告について

○井出健治郎委員長 第30号報告につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは、第30号報告につきまして、中村指導課長補佐より報告させていただきます。

○説明員 ————— 平成24年度全国学力・学習状況調査の報告について説明 —————

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。西田委員さん、どうぞ。

○西田敏子委員 沢山の資料をまとめていただいたり、様々な角度から検討を行っていただいたりと力を入れてやっていたらいいな、と感じました。そこでお聞きしたいのですが、家庭学習のところで起床時間・就寝時間等々の家庭生活との関係が大きい部分で問題があるように見受けられました。これに対して、なんらかの連携や取り組みというのはあるのでしょうか。

○井出健治郎委員長 中村課長補佐さん、お願いします。

○説明員 学力に対しては、学校だけではなく、保護者にも危機感を持ってほしいということで、学校と保護者が一体となって進めていくことが大切だと考えております。家庭学習についてはもちろんのこと、携帯電話の使用等、学校を通して懇談会等の場で啓蒙、啓発していくことを現在検討しております。

○井出健治郎委員長 後藤副部長さん、お願いします。

○説明員 補足させていただきます。家庭生活に関するところは、前々から私達も危機感を持っておりまして、課長補佐が申し上げたこと以外に、現在は市役所の出前講座で子どものしつけという単元で、指導主事が出向いて、しつけまたは家庭生活について話をする出前講座を一講座設定しております。また、今回の就学時健診及び入学説明会では、家庭教育アドバイザーを積極的に活用するように、というお話をしております。そういったことで啓発をするような手立ても取っております。

○西田敏子委員 子ども教育連携推進室でおやりになったアンケートでも似たような課題があったと思います。子ども教育連携推進室は草加の特色だと思いますので、うまく連携して進めていってほしいと思います。子ども支援センターの活動も、就学前の子供と関わっており、親御さんの心配を軽減するような活動をおやりになっていますので、そのあたりのことも取り入れて進めていってほしいと思います。よろしくお願いします。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 それぞれの学校では学力向上プログラムというのがあると思うのですが、指導の基ではなく、草加市の学力向上プログラムというものが必要ではないかと思います。ぜひ作成していただきたいと思っております。それから、生活面では、地域との連携ということで学校応援団があり、あとは市P連、そういったところと連携して草加市独自の取り組みを何かできるのであれば、共に子ども達の教育、生活をより良くしていけるのではないかと感じております。

○井出健治郎委員長 中村課長補佐さん、お願いします。

○説明員 村田委員さん、ご意見ありがとうございます。昨年度の結果を見まして、教員の指導力の向上を図るために、学力調査の結果から課題の改善目標をたてて、そのための学習活動ということで指導の基、その中で国語科と算数・数学科の学力向上プランにつきましましては、指導を行い、今年度教員には取り組んでもらっております。また、今年度は理科の調査結果もわかりましたので、今後も各教科について学力向上プランをたてて取り組んでまいります。また、西田委員さんからも先ほど家庭生活のことでお話ございましたので、市P連、学校応援団にも協力を依頼して進めてまいりたいと思います。

○井出健治郎委員長 こういった調査の結果が出ましたので、今回だけに限らず今後も進めていっていただきたいと思います。ほかにご質問等がないようでしたら、第30号報告につきましましては、承認とさせていただきますのでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○井出健治郎委員長 それでは、第30号報告については承認いたします。

◎第31号報告 県費負担教職員の人事に係る専決処理の報告について

○井出健治郎委員長 第31号報告につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは、第31号報告につきまして、七澤学務課長より報告させていただきます。

○説明員 ————— 県費負担教職員の人事に係る専決処理の報告について説明 —————

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

(「ありません」と呼ぶ声あり)

○井出健治郎委員長 ご質問等がないようでしたら、第31号報告につきましては、承認とさせていただきますのでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○井出健治郎委員長 それでは、第31号報告については承認いたします。

◎第32号報告 第3回草加市子ども教育連携推進委員会に係る報告について

○井出健治郎委員長 第32号報告につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは、第32号報告につきまして、上田子ども教育連携推進室長より報告させていただきます。

○説明員 —— 第3回草加市子ども教育連携推進委員会に係る報告について説明 ——

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。小澤委員さん、どうぞ。

○小澤尚久委員 10ページにあります幼保小中の連携の関係について具体的にお示しいただきました。これをいただいたことによって、それぞれが共通の核になる部分をお示しいただいたので、これに従って、まずは関係作りからというところも多いと思うのですが、25年度から少しずつ取り組んでいけるのかな、と感じました。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 ステップアップ表についてなのですが、右側のものは25年度から27年度でとありますが、このステップ1からステップ4は3年間でどのように進めていくものだと捉えたらいいのでしょうか。

○井出健治郎委員長 上田室長さん、お願いします。

○説明員 まず来年度、再来年度はこちらのステップアップ表の中で、おそらくすでにステップ1についてはもうおやりになっているところもあると思うのですが、そういったところは次に進んでいただき、まだ関係作りから、というところは順番に進めていただきたいと考えております。また、来年度、再来年度は接続期のプログラムについても、来年度にまずモデル案を作りまして、再来年度にそれをモデル実施するという進行になります。平成27年度からは実際に接続期プログラムについて市内全体で基本的には実施したいと思いますので、その時にはステップ3のカリキュラムを実施するということを市内のそれぞれの学校や園で行えるようにもっていきたいと考えております。

○村田悦一委員 このステップ3を27年度に行うという見通しですね。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。西田委員さん、どうぞ。

○西田敏子委員 膨大な資料があり、順々に進んでいるのだなあ、と感じました。3ページに書いてある草加市における連携、交流の現状というところで、室長さんは今の現状をどう捉えているのかお聞きしたいと思いました。連携、交流を行ったと回答したところの割合の中で、中学校が78.8%となっています。かなり高い数字でいいな、と思うのですが、中身はどのような連携をされていると思われますか。

○井出健治郎委員長 上田室長さん、お願いします。

○説明員 やはり小学校と中学校ですと連携の内容も違っておまして、小学校の場合はどちらかというところと幼保との連携もありますので、活動・遊びを通じたものですとか授業参観等の実施が多かったりするのですけれども、中学校の場合は小学校と連携する中で、教職員の方々の連携でしたり、あるいはお子さんについて小学校から中学校にあがる前後に教職員同士がきちんと情報交換をして接続をうまくするといった取組が多くなっており、どちらかといいますと、中学校は小学校に比べ、子ども同士の交流よりもの方が先生同士の連携の割合、比重が多いのかなという印象を持っております。

○井出健治郎委員長 高木教育長さん、お願いします。

○高木宏幸教育長 その点からいいますと、あくまでも何らかの連携をしているというパーセンテージだけであって、78%になっていますけど、我々が考える理想のように連携が行われているわけではないですね。逆に、22%くらいの中学校は連携という意識でやっているものはない、ということですので、まだまだ連携という意識を高めて推進していく必要があるだろうな、というのが現状だと思います。

○西田敏子委員 例えば、職場体験に行かせただけで連携をやっているというような捉え方でパーセンテージに出ていて、中身が伴わない連携をこちらが把握してしまうという恐れがありますね。やはりこの現状、連携の中身を正確に捉えていく必要があると思います。そうしたうえで、ステップアップの方に進んでいくべきではないかな、という感想を持ちました。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 細かい部分になるのですが、まだ案の段階なので体裁について、2～7ページの中で気づいた点がいくつかございましたので、後で修正を検討していただきたいと思います。8ページについては質問したいのですが、中学校が11、小学校が21で、幼稚園が17、これはいわゆる私立の幼稚園が全部で17園入っているのか、そして保育園は数えると39なんですけれども、公立が21で残り18が私立として全部入っているのか、全て網羅されているのかお聞かせください。

○井出健治郎委員長 上田室長さん、お願いします。

○説明員 幼稚園については私立の幼稚園を全て入れさせていただいております。保育園につきましては、公立・私立の認可保育園と、認可外の私立の保育園も全て入れております。幼保小連絡協議会でも構成員に全ての園の方が入っており、お声掛けも全ての園にしております。

○井出健治郎委員長 ほかにご意見、ご質問はございますでしょうか。なければ、私の方から2点ほどございます。1点目は共通していることなんですけれども、10、11ページのところのステップアップ表の所で、これは将来的な願いも含めてなのですが、この表のように順調に進んでいくことを願っているのですが、事務局としては想定されるリスクや壁にぶつかった時に、このステップはどこをどういうふうに変化させるとか、どう乗り切るのか、そういったところも考えておいてほしいと思います。順調にいけば問題ないのですけれども、何かあった時にどう対処していくかも考えておいてほしいと思っております。あとは、今年度連携推進が始動して半年以上経ちましたが、室長さんから見て、進行上の問題点等はありませんでしたか。もしあれば、お話いただきたいと思います。

○説明員 1点目のこれから進めていく上でのリスクについてですが、この連携、交流のステップアップ表にあることは全て行わなければならないという位置付けのものではありません。あくまでここに書いてあるものの中でそれぞれの園や学校の中で取り入れやすいものに取り組んでいただいたり、すでに行っているものを拡充するための参考にしていただければと考えているものなので、そこまでリスクについては想定しなくていいものと考えております。行動計画につきましては、取り組みの中で最も大きな部分になるのが25、26年度の接続期のプログラムを作成し実際に市内で使っていくというところになると思うのですが、その部分については市内の一部の小学校で接続期のカリキュラムを実際に取り入れていらっしゃる先生がいるということで、作成するときにそういった先生に入っていて、現場で具体的にどういった課題があるか、どのようにカリキュラムを作成しているのかということをお聞きして盛り込んでいくことが大事であると考えています。あとは、作成した後にはいかに市内で実施するかということがありますので、それについてはなるべく前もって、時間をかけて、学校あるいは園、先生方にきちんと届くように浸透させていくことが重要だと思っております。今年度進めていく中で、1番難しいと感じている部分は、家庭とどうやって連携を図っていくかということです。推進委員会の中でも、この連携をやっていく中できちんと押さえておかないと進まない指摘をいただいているのが、保護者の方にどうやって子どもの教育により熱心に関わっていただいて、保護者の方からどんなふうに子どもに話をさせていただくかという点であり、こ

れから進めていく上で課題になってくる、と感じております。

○井出健治郎委員長 今回のアンケートの回収にあたっては、今おっしゃっていたような家庭や保護者で協力的でなかった、というようなことはなかったのでしょうか。

○説明員 今のところはありません。ただそれは園や学校を通じて配っていただいているので、普段の関係があるから、ということも関係していると思います。

○西田敏子委員 今のアンケート回収率についてなのですが、資料の中で中学3年生が59.4%とありますが、この数字は普通でしょうか。

○説明員 やはりお子さんが小さければ小さいほど保護者の方にきちんと書いていただけるのですが、中学生の場合は、お子さんから保護者にきちんと渡されているか、というところが難しいところですね。

○西田敏子委員 中学校はアンケートに関わらず様々なことでご苦労があると思いますが、もう少し理解をいただきながら、この取り組みがどう反映されていくのかというところの見通しを表していくといいのかな、と思います。アンケートに関してはお子さんが渡すか渡さないかというところがありますので、何か方策が必要かなと思いました。

○井出健治郎委員長 ほかにご質問等がないようでしたら、第32号報告につきましては、承認とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○井出健治郎委員長 それでは、第32号報告については承認いたします。

◎第33号報告 小中学校におけるいじめ防止対応策の報告について

○井出健治郎委員長 第33号報告につきまして、事務局の説明をお願いいたします。教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 それでは、第33号報告につきまして、中村指導課長補佐より報告させていただきます。

○説明員 ————— 小中学校におけるいじめ防止対応策の報告について説明 —————

○井出健治郎委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。村田委員さん、どうぞ。

○村田悦一委員 今お話がありましたように、継続的な取り組みが定着していくことが必要なのですが、学校というのは年度で児童生徒は学年が上がり、職員も人事異動で変り、今まで出来ていたことが出来なくなるということもあるかと思います。ぜひ継続的な取り組みが定着し

て、今後もできるようなかたちにしてほしいですね。その際は、教育委員会の方から働きかけることが必要だと思いますのでよろしくお願いいたします。それから資料の中で、長栄小の欄に「～で話し合う」とあるのですが、話し合っただうするのか、という部分について、具体的に何をやっていくのかということを書いておく必要があると思いますのでよろしくお願いいたします。

○井出健治郎委員長 ほかにご質問等がないようでしたら、第33号報告につきましては、承認とさせていただきますよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○井出健治郎委員長 それでは、第33号報告については承認いたします。

○井出健治郎委員長 以上で本日の議案、報告の審議は終了しましたが、その他の報告がないようでしたら、次回の教育委員会の日程について、教育長さんお願いします。

○高木宏幸教育長 次回の教育委員会の日程についてですが、11月22日木曜日午後1時30分から教育委員会会議室でお願いしたいと思います。

○井出健治郎委員長 では、次回の定例会につきましては、11月22日木曜日午後1時30分に開会ということで皆様よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

◎閉会の宣言

○井出健治郎委員長 それでは、以上をもちまして本日の委員会を終了したいと思います。

午後2時20分 閉会